

令和3年度			
講習の区分	<選択領域講習>受講者が任意に選択して受講する領域	講習 時間数	6 時間
講習の名称	【選択】現代の貧困問題と子ども・家庭の生活	講習形態	講義・演習
開設者	長崎純心大学	定員	50名
開設日/時間	令和3年5月29日(土) / 8:55~16:20	会場	長崎純心大学(長崎市三ツ山町)C304
履修認定対象職種	教諭、養護教諭、栄養教諭	主な受講対象者	全教員
担当教員(講習代表者) / Eメールアドレス/TEL 担当教員： 飛永高秀 (人文学部)			
担当教員(分担担当者等)			
講習のねらい/講習方法/講習到達目標 講習のねらい： 現代における貧困問題について、その現状について理解を深め、児童・生徒の家庭生活を取り巻く「貧困」を捉える視点・対応方法等について受講者全員で共有し理解を深める。 講習方法： 一人の担当教員が主に全体の進行等を総括し、現代の貧困問題について、統計資料等を用いて説明し、特に児童・生徒を取り巻く家庭生活における貧困問題について、グループワーク等を実施することで、その課題と対応策について共有化する。 講習到達目標： ①現代の貧困問題について理解する。②児童・生徒を取り巻く貧困問題について理解し、その課題と対応策について理解を深める。			
講習内容(概要) / 講習計画(時間毎の講習内容を含む) / キーワード 講習内容(概要)： 近年、所得格差等の問題において、貧困の悪循環等が指摘されている。特に子どもの貧困については、学校生活のみならず、家庭生活に大きな影響をもたらし、子どもの成長発達、社会参加等を拒む事態ともなっている。 そこで教員として、まず、現代における社会福祉の現状、特に貧困について、生活を振り返りながら理解を深め、子どもを取り巻く「貧困」の問題について把握し、共有することとしたい。そして、私たちの貧困に関する認識、学校における児童・生徒の貧困問題に対する捉え方や対応等について検討することとしたい。 講習計画・内容：			
	内容等	時間	担当教員
	オリエンテーション	8:55~9:00(5分)	飛永高秀
	現代における社会福祉と貧困	9:00~10:30(90分)	飛永高秀
	子どもと家庭を取り巻く貧困問題(視聴覚教材等)	10:40~12:00(80分)	飛永高秀
	昼休憩	12:00~12:50(50分)	
	学校教育における子どもと家庭の貧困(グループワーク)	12:50~14:10(80分)	飛永高秀
	子どもと家庭の貧困への対応(グループワーク)	14:20~15:50(90分)	飛永高秀
	筆記試験	16:00~16:20(20分)	飛永高秀
キーワード： (子ども) (家庭) (貧困)			
成績評価の方法	成績評価は、各講習担当者が行う試験の成績や講習中の課題への取組み等から総合的に判断します。		
成績評価の基準	成績評価は、到達目標達成点を100点とし、総合点で60点以上を合格とします。		
履修認定の方法	成績評価の総合点で合格点に達した受講者に対して履修認定します。		
教科書・教材・参考書	当日プリントを配布します。		
各自で準備するもの	なし		
受講上の注意	1. 「講習の名称」が同じものは1度しか受講できません。 2. 視聴障害や聴覚障害などのため、受講に際して特別な配慮が必要な方は、受講申込前に事務局へお問合せ下さい。 3. 遅刻は原則として認めません。		